

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

376号

2022年6月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合  
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

## 尹錫悦大統領就任 ～検察共和国の危うい船出～

5月10日、韓国第20代大統領に尹錫悦氏が就任した。就任辞では深刻な格差社会を急速な経済成長で克服すると述べた。新自由主義体制の司令部である国際通貨基金（IMF）でさえも「トリクルダウン（高所得者が富めば、富が低所得層に滴り落ちる）は虚構であり、低所得層への支援政策が効果的である」と路線転換しているにもかかわらず、財閥中心の成長政策を宣言した。

また「民主主義の危機を偉大な国民とともに克服していく」とも述べた。韓国の民主主義の危機は、積弊（軍事独裁政権時代から続く既得権）勢力の清算ができていないことが根本要因だ。とりわけ絶大な権力をもつ検察の改革が進展していないことが大きい。検察改革に真っ向から反対していた元検察総長が大統領になって、一体、国民とともにどのように民主主義の危機を克服していくのだろうか。

### ◆就任式までのドタバタ劇

大統領選挙史上最少の僅差（0.7%・24万票）で当選した尹氏の最初の国政課題は、大統領執務室の移転であった。「任期当初から光化門（ケンファム）で執務が可能だ」と断言していたが、警護と市民の不便（移動の際の交通停滞）等の問題から、国防部と合同参謀本部を移転させて、龍山に移転する事になった。この間のドタバタ劇に3週間の基調な時間が浪費された。もっとも「政権交代」のみで思いがけずに大統領になった「たまたま大統領」には、特に語るべきビジョンや国政課題がなかったのかもしれない。

大統領選挙の余韻が冷めないのか、当選後も集会では得意の「アッパーカット」を披露し、地元のデパートで靴を買い、市場でトッポッキを食べ

るなどのパフォーマンスも続けていた。

尹氏が大統領にふさわしい資質や能力が認められて当選したのではないことは、世論調査でも明白だ。支持層の64.8%は支持理由として「政権交代のため」をあげ、「資質と能力が優れているから」は4.1%であった。

人事に関しても「能力主義で配置する」と表明していたが、結果は「尹錫悦派検事」で陣営を固めた。検察を監督する法務部長官は、曹国（チョ・グク）元法務部長官の疑惑捜査を指揮し、尹氏を「兄さん」と呼ぶほどの最側近だ。

新政権の検察は、これから以心伝心で大統領の意向を忖度して事件を処理していただくだろう。



▲「尹錫悦に警告する」を訴える韓国民衆

### ◆第二のキャンドル革命

就任直後の韓米首脳会談

では、米中対立の中でバランスに苦勞した前政権とは違い、「安米・経中（安保はアメリカ、経済は中国中心）」から「安米・経米（安保はアメリカ、経済もアメリカ中心）」に大きく舵を切った。昨年5月の共同声明に入っていた「2018年の板門店宣言とシンガポール共同声明などの既存の南北間、朝米間の約束にもとづいた外交と対話が、朝鮮半島の完全な非核化と恒久平和の定着を成し遂げるためには必要不可欠だとの共同の信念を再確認した」という文言はすべて削除された。

これから厳しい時代を迎えるだろう。しかし、尹大統領は忘れてはいけない。韓国は革命の国である事を。もし「検察共和国」を過信するようなことがあれば「第二の朴槿恵」になるのは火を見るよりも明らかである事を。そして、指導者は常に歴史に謙虚でなければならない事を。（隆）

## 光州精神を継承し、 民族自主と南北合意の履行を訴えよう！

### 光州民衆抗争42周年全国集会

光州民衆抗争から42周年を迎え、韓統連主催で「光州精神を継承し民族自主を争取しよう！光州民衆抗争42周年記念 在日韓国人全国集会」が5月22日（日）、愛知民主会館（名古屋市）で開かれた。

集会では映像資料の上映後、趙基峰（チョ・キボク）韓統連副委員長が主催者挨拶を行い「光州民衆抗争の精神は87年の6月民主抗争、2017年のキャンドル革命に継承されている。私たちが光州精神を忘れることなく運動を進めていこう」と語った。

次に、宋世一（ソン・セイル）韓統連委員長が情勢講演を行った。宋委員長はバイデン政権の「新冷戦」秩序における韓国・日本の役割について解説するとともに、5月10日に発足した尹錫悦政権について「尹政権は対米追従政策、反北対決政策、親日政策の立場をみせている」と指摘、「そのような尹新政権に対して、私たちは民族自主の立場を明確にして、これまでの南北合意を実践するよう求めていかななくてはならない」と訴えた。



▲集会に参加した全国の同志たちと記念写真

講演後は質疑応答と意見表明が行われあと、韓青から青年が先頭に立って光州精神を継承していく内容の文化公演が行われ、参加者から熱い拍手が送られた。

その後、決議文の朗読・採択が行われ、最後に金昌五（キム・チャンオ）韓統連事務長が閉会挨拶を行い、集会は終了した。

集会終了後は場所を移して交流会が開かれ、久

しぶりに会った仲間との親睦と交流が深められた。

### 韓青生野北支部が定期大会

#### 金和容新委員長を選出

#### 韓青生野北支部第12回定期大会

韓青大阪府本部生野北支部が5月1日（日）、東成区民センター（大阪市東成区）で「韓青生野北支部第12回定期大会」を開催した。

大会では、趙暎和（チョ・ヨンファ）韓青生野北支部委員長が主催者挨拶を通じ「約5年半、地域に根差し活動を継続してきた成果として今回の定期大会を開催することができた。協力して頂いた皆さんに感謝します」と語った。

次に金隆司（キム・ユンサ）韓統連大阪本部代表委員が激励挨拶を行い「韓青が代を継いで続けてきた運動の歴史を自らの誇りとして頑張る欲しい。韓統連として最大限応援することを約束する」と述べた。



▲金和容新委員長を中心に記念写真

続いて議案審議に入り、第11期総括と第12期方針を論議・採択。今後は日本社会の中で生きづらさを感じ孤立する在日同胞青年と共に歩み、在日同胞を取り巻く困難の原因に向き合い解決策を積極的に発信することとした。続けて役員改選が行われ、金和容（キム・ファヨン）氏が新委員長に選出され、監査に金雄太（キム・ウンテ）氏が選出された。

金和容委員長は就任挨拶で日本のメディア報道をうのみにしていた過去の自分を振り返り「これから支部に集う青年たちに真実を伝えて共に歩む存在になりたい」と決意を述べ、第12回定期大会は終了した。

## 韓青生野北支部委員長としての抱負

## 韓青生野北支部委員長 金和容(キム・ファヨン)

私はウリマル（韓国語）を習いたいと思い、色々な所から教室を探していました。そしてコリアタウンの掲示板に、「はんちゃん」のポスターが貼られていて、それがキッカケで2016年の春に韓青に入りました。

当初は韓青の目的理念である自主・民主・統一には関心がなく、日本の偏向報道も嘘とは知らずに信じていたために「北朝鮮（※正しくは朝鮮）は独裁者が支配している怖い国」とか、「韓国はいつまで反日運動してるの？」と思ったりしました。日本に対しては自由でちゃんとした国とも当時は思っていました。日本籍の私は日本の投票権があったので投票にも行きましたが、あの時も周りの意見に流されて反民主的で在日コリアンを差別する政党に投票したこともありました。

しかし、韓青での学習会や仲間たちの話の中で、朝鮮半島の統一を妨げている勢力があること、日本という国は平

気で相手を陥れるために嘘を民衆に伝達していることや、在日コリアンや他の外国人に対しても差別をしたり、非人道的な扱いをしていること、慰安婦問題や徴用工問題と過去の過ちに対して誠実な謝罪ができていないことなど、半信半疑で聞いていましたが、それが本当のことと知り強いショックを受けました。

私は今まで権力者側の嘘に踊らされ、加害に加担していたことに嫌悪と罪悪感を抱きましたが、同時に真実を教えてくれた韓青の仲間たちに感謝しています。韓青に出会えて本当に良かったと心から思えました。

それから私は意欲を持って活動に取り組みました。韓青や政治運動に抵抗感のある家族にバレないように言い訳などで誤魔化して活動してきました。しかし、そろそろ限界がきたことから家族の

干渉を防ぐためと、韓青活動がしやすいよう一人暮らしを始めました。そして仲間の勧めで2019年末に常任委員になることを決意しました。ところが、これから頑張るって活動しようと思っていた矢先にコロナ感染が拡大し、そのせいで韓青活動にも影響が出て行事が中止になったり、制限されたりと思うように動けず、もどかしい気持ちを抱えたり、ネガティブ思考になったりもしました。

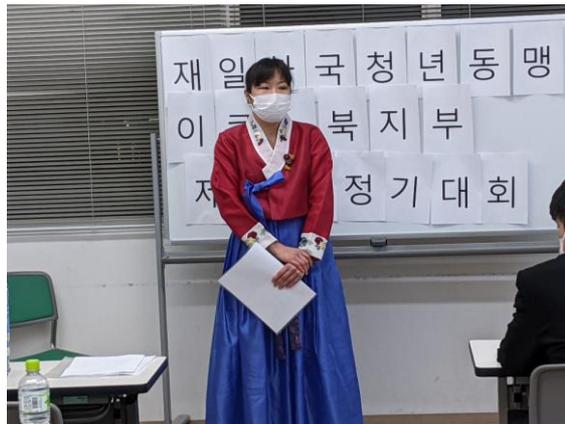
だからといってジッとするのはなく、限られた中でも活動して仲間たちと協力し合い、できることは実現していきました。ジェンダー関係の学

習会の実施、盟員を増やすためにSNSを活用したり、YouTube動画を作成したり、送年会や新成人祝賀会などの対面活動がそうです。

保守政党「国民の力」の尹錫悦が大統領選挙に勝利したことで、検察権力と積弊勢力の暴走と南北関係の冷え込み、格差問題、ジェンダー問題などが深刻になることが予想さ

れます。また積弊勢力やアメリカをはじめとする外勢の祖国統一の妨害、日本に関しては朝鮮半島に対する敵視政策、人権問題、差別問題、偏向報道、同調圧力と自己責任論や貧困に因る生きづらい社会など問題と課題が山積みです。

祖国統一、民主主義の正しい発展と実践、正確な情報の発信と共有、人間としての尊厳と自由を守る、日本の社会問題と差別問題によって苦しんでいる在日コリアンの権益擁護を実践するために、私は生野北支部の委員長になることを決意しました。頑張ります。



▲就任挨拶をする金和容さん



## 光州民衆抗争42周年 在日韓国人全国集会意見表明 光州精神を継承し、一日も早く自主・民主・統一を成し遂げるために

韓統連三重本部事務局長 丁勝明(チョン・スンミン)

光州民衆抗争から42回目の5月を迎えました。

当時、私は韓国人であることを隠し続け、差別に怯えながら生きる14歳の少年でした。何気なくテレビを見ていると韓国で学生たちが火炎瓶を投げながら軍隊と対峙している映像が映され、「光州で暴動が起きている」と報じられていました。何も知らない私は、ただただ怖いと感じたことを覚えています。

それから3年後に韓青と出会い、民族と出会い、多くの仲間と出会い、歴史の真実を学び知りました。あれは暴動ではなく、民主化を求めて立ち上がった学生たちに、光州市民が合流した民主化運動であり、それを全斗煥率いる戒厳軍が銃剣で弾圧したものでした。



▲80年5月、全南道庁前で開かれた光州市民集会

韓国軍の統帥権を持つ駐韓米軍司令官が、光州市民の抗争を鎮圧するために韓国軍の光州市への投入に承認を与えたという事実。米国の干渉がなければ、光州民衆抗争は全国に拡大して勝利していたと思います。

光州民衆抗争によって明らかになった米国の正体、民族の自主を奪い、侵害しているのは誰なのか、私たちは今一度、光州民衆抗争の教訓を胸に刻まなければいけないと思います。

5月10日に尹錫悦政権が誕生しました。彼の大統領就任演説には、わが民族と韓国民衆が経てきた歴史に対する言及が一切ありません。本来自国の将来は自国の歴史の評価から導き出されなけ

ればならないと思います。

尹錫悦政権は、わが民族の自主・民主・統一運動の闘いの歴史、成果に立脚して方針を打ち出すのではなく、米国に民族の自主を売り渡し、米国に従属する道へと歩みだし、韓米同盟の強化を推し進めています。

また、これまで歩んできた朝鮮半島の平和と祖国統一への歩みは、尹錫悦政権によって一方的に止められ、「朝鮮への先制攻撃」発言や「朝鮮半島の非核化」ではなく「朝鮮の先非核化」を主張するなど、尹錫悦政権は、これまで積み上げてきた全ての南北合意を無視して、朝鮮との対決姿勢をあらわにしています。このまま行けば、ただでさえ停滞している南北関係は悪化の一途をたどるのは明らかです。



▲意見表明を行う丁勝明事務局長

尹錫悦政権は誕生したばかりですが、わが民族の未来を託すに値しない政権だと気づく時が来るでしょう。そして再びキャンドルの炎が大きく燃えあがるのが近い将来くることを信じています。

真に自主的民主政府の樹立を成しえる政権を闘争によって勝ち取らなければなりません。私は今一度決意します。光州精神を継承し、米国の支配と干渉をはねのけて、一日も早く自主・民主・統一を成し遂げるために同志の皆さんとともに闘っていきます。

## 【コラム】 「PACHINKO パチンコ」私たちのドラマ

ついに私たちのドラマがあらわれた。ドラマ「PACHINKO・パチンコ (파친코)」(AppleTV)を見た衝撃をどう表現すればいいのだろう。このドラマは、まさに私たちのドラマである。

私たちが伝えたかった思いが、登場人物たちのセリフを通じて語られる。アメリカのエンターテインメントウィークリーは「4年間高校の授業で学ぶよりも、韓日関係についてわかるようになった」と評価している。アメリカの批評専門サイトの評価でも100点満点のうち98点を記録するなど絶賛一色だ。韓国でも大変な人気を呼び、原作の小説は飛ぶように売れ、品切れが続出している。

ドラマ「PACHINKO パチンコ」は、アメリカのアップル社が100億円をかけて作ったドラマ。詳細に歴史を描いている。画像は映画のように美しく上質だ。原作は在米韓国人作家イ・ミンジンの同名の小説。小説はアメリカでベストセラーになった。ドラマの制作には在日同胞がたくさん関わっている。映画「ミナリ」でアカデミー賞助演女優賞を受賞したユン・ヨジョンが主人公のソンジヤを、ソンジヤの若い頃をキム・ミンハという無名の女優が演じている。このキム・ミンハの演技もすばらしい。たくましさ、純粋さとひたむきさ、まさに在日の女性そのものだ。

強制連行、従軍慰安婦、関東大震災の朝鮮人虐殺など歴史の事実がドラマの中で登場する。ドラマは1930年代の朝鮮と1980年代の日本を交互に描く。主人公ソンジヤの過去(植民地時代)と現在(1980年代)はまさに在日朝鮮人がたどった苦難の歴史そのものだ。

### ●「語られなかった思い」を語るドラマ

ドラマの最後は衝撃的だ。ドラマが自分の現実の中に入り込んでくる、そんな感覚。現実がドラマそのものであるという事実によって圧倒される。ドラマはシーズン1(全8話)の配信が終了し、これ

からシーズン2の制作に入るという。シーズン4までが予定されている。韓流スターのイ・ミンホが登場しているにもかかわらず、日本のメディアが沈黙しているのは、彼らに不都合な歴史の真実が描かれているからだだろう。このドラマはすべての同胞と日本人に見てほしい。韓国に住む同胞たちもこのドラマと「私はチョソンサラムです」を見れば、在日同胞のことを理解できるはずだ。

ドラマの最後の方で「그들은 견뎌냈다 (彼らは耐え抜いた)」という字幕を見た時、胸が震えた。

子役(ソンジヤの息子役)の大阪弁がうますぎ

て驚く。登場人物たちの大阪弁がかなりいい感じでリアリティがある。イ・ミンホの済州島の方言はまったくダメだったが(笑)。

生野区も登場するし、セットも本格的。7話では関東大震災

の頃の日本の朝鮮人差別の様子が描かれる。この部分は原作にはなかったという。

私が特に何度も見たのは4話だ。ソンジヤの孫であるソロモンは、アメリカの大学を卒業したエリート銀行員。時代はバブルの真ただ中にある1980年代の日本。ホテル建築のため、ある地主の土地を買収しなければならない。ソロモンは地主である朝鮮人のハルモニ(お婆さん)の心をつかもうとする。やがてハルモニが莫大な金額を提示されたにもかかわらず、なぜ土地を売ろうとしないのかという理由が明らかになる。このシーンはドラマの中盤におけるクライマックスと言ってもいい重要なシーンだ。

語りたいことが山のようにありながら、幼い頃から家族のために働き続け、黙って去って行ったすべての在日同胞にこのドラマをささげる。

人間を抑圧する者たちを罰する、それは慈悲である。彼らを赦すことは野蛮である。

ロベスピエール

(キムヘス)



## 【書籍紹介】

中野重治と朝鮮問題  
連帯の神話を超えて

廣瀬陽一 著

青弓社・2800円＋税

廣瀬陽一の『中野重治と朝鮮問題』が昨年末に出版された。

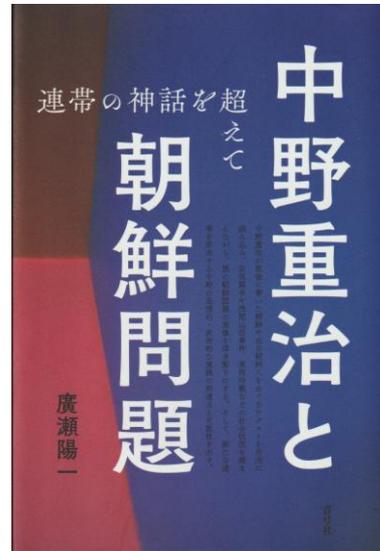
中野の研究者は多いが、廣瀬のような「若手（1974年生まれ）」がこのような大著（300頁近い）を出すとは驚きだった。

中野（1902－1979）は戦前からプロレタリア文学運動の旗手だった。さらに戦後、共産党の参議院議員となり、1964年に除名された。1929年の詩『雨の降る品川駅』はあまりにも有名だ。当時、在日朝鮮人の文芸誌『無産者』の創刊号に朝鮮語で載り、朝鮮人からも支持されたことがうかがえる。

この詩は「辛よ さようなら 金よ さようなら 君らは雨の降る品川駅から乗車する」で始まり、「日本プロレタリアートのうしろ盾まえ盾さようなら 報復の歡喜に泣きわらう日まで」で終わっている。

本書には中野の朝鮮認識について、豊富な資料を駆使し、主題別、時系列で書かれている。表紙

裏に、金達寿（キム・ダルス・文学者、日朝古代史）との写真（1954年）が載っている。彼は中野を終生「人生の師」と尊敬し、中野も彼を信頼していた。



本書は、序章に集約されていると思う。ここで『雨の降る品川駅』についての、中野自身の自己批判も含めて、戦後論議されたことが詳しく書かれている。あの「日本プロレタリアートのうしろ盾まえ盾」についてだ。この結論は読み手が判断したらいいと思う。中野の作家としての姿勢、朝鮮問題へのこだわり、そして共産主義者としての生き方そのものが、本書には凝縮されている。

この著作は、あまりにも専門的過ぎて、初めて中野を読む人にとっては、不向きかもしれない。新潮文庫に、『歌のわかれ』『むらぎも』『梨の花』『中野重治詩集』などがあり、お勧めしたい。（中山茂・フリージャーナリスト）

## ◆◆行事案内◆◆

韓統連大阪本部 ウリ現代史セミナー2022

## 第1回「解放と分断」～新祖国建設に向かう怒涛の時代～(1945～1950)

日 時：7月17日（日）午後1時30分 受付／午後2時 開会

場 所：KCC会館5階ホール（地下鉄今里駅2番出口から徒歩7分）

大阪市生野区中川西2-6-10

講 師：金昌範（キム・チャナム）韓統連大阪本部副代表委員

参加費：800円（青年学生500円）

主 催：韓統連大阪本部 TEL06-6711-6377

## 編集後記

尹錫悦政権が発足しました。大統領就任後すぐに韓米首脳会談を開催するなど、バイデン政権と親密な関係をアピールしています。対米従属が深まりそうです。民族自主精神がとても大切です。（ソン）